

# 感染症に気をつけよう!

2022年【11月号】



## 横浜市内の感染症 流行状況

10月31日  
発行

感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】  クリック
新型コロナウイルス 感染症*	 大流行	 横ばい	10代を始めとする若い世代を中心に、幅広い年齢層での感染がみられます。【'22.10号】
梅毒**	 発生	 横ばい	梅毒などの性感染症は、報告数が比較的多い状況が継続中です。【 <a href="#">ちらし</a> 】【 <a href="#">無料・匿名検査</a> 】

国立感染症研究所\*

厚生労働省\*\*

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

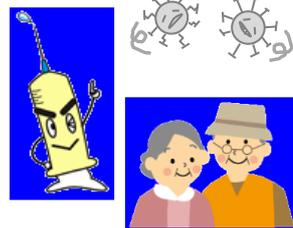
## 今、気をつけたい感染症 同時流行!!



この冬は  **新型コロナウイルス感染症**の感染拡大が今年の夏を上回り、  
加えて  **インフルエンザ\*\***も 同時に流行する可能性\*\*があります!

基本的な予防対策は同じです。  
感染(飛沫感染・接触感染)の経路を断つために、引き続き  
咳エチケット\*\*や  
こまめな手洗い\*\*を  
しっかり行いましょう!

免疫力が弱っていると感染しやすくなります。  
十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、  
免疫力を高めて  
おきましょう!



新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは、  
同時に接種することも可能\*\*です。  
ワクチン接種について、  
かかりつけ医に相談しましょう!  
横浜市では、令和4年12月31日まで  
高齢者インフルエンザ予防接種を実施しています。



参考リンク: 横浜市保健所

【[新型コロナウイルス感染症に関する情報について](#)】

【[新型コロナウイルスワクチン接種について](#)】